

平成 26 年度第 2 回佐世保市地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 5 階 庁議室

時間：平成 26 年 12 月 18 日 13:30～14:50

(事務局：森)

定刻となりましたので、只今から「第 2 回 佐世保市地域公共交通活性化協議会」を開会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。私は、企画部地域政策課長の森でございます。進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

佐世保市地域公共交通活性化協議会は、佐世保市長が会長となり、交通事業者様、利用者代表の方、行政をメンバーとして、去る 8 月 28 日の第 1 回目の協議会において立上げを行いました。その際、皆様方には、委員就任を快くお引き受けいただきましたことを、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、本日は委員の皆様のほか、公共交通に関する要となる政策を中心となって進めていらっしゃる、国土交通省総合政策局公共交通政策部長でいらっしゃいます、藤井様においで頂いています。藤井部長様、本日は御臨席頂き、ありがとうございます。

またその他、公共交通網形成計画の策定に向けた調査事業を進めていただいております、日本総合研究所様にも御出席をお願いしています。後ほど調査事業の進捗状況についてご説明をお願いしたいと思います。

それでは、協議会を開催するにあたって、まず始めに、佐世保市地域公共交通活性化協議会の会長である、佐世保市長から御挨拶を申し上げます。

(朝長佐世保市長)

本日は年末のお忙しい中にも関わらず、佐世保市地域公共交通活性化協議会へ御出席頂きまして誠にありがとうございます。そして、日頃より市政への御理解と御協力を賜り、深く感謝しております。

さて、本協議会は今後の本市の公共交通におけるマスタープランとなる「佐世保市地域公共交通網形成計画」の策定、またそれを実行していくためのアクションプランとなる「佐世保市地域公共交通再編実施計画」の策定という大役を担っている協議会であります。去る 8 月 28 日に行いました第 1 回目の協議会では、本協議会の立上げとともに今後のスケジュール等を確認した次第ですが、今回は現在行われている本市公共交通網の調査事業に関する進捗状況の報告があると伺っております。

近年の公共交通を取り巻く状況と致しましては、人口減少やマイカー利用者の増加の影響を受け、公共交通の利用者は年々減少してきており、それに加えて、燃料価格の高騰という要因もございまして、公共交通事業者の皆様のご経営は、ますます厳しいものになってきております。この状況を打破するためには、これまでとはまた違った新しい視点をを用い、将来を見据えた最適な交通網の形成

を模索する必要があるのではないかと考えておりますが、この協議会は、その道筋を示し、実行していく機関としての位置づけと考えております。こうした公共交通の改革は、待ったなしの状況にあることをしっかり認識しながら、皆様方の御協力を賜り、しっかり進めていく所存でございますので、引き続き御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また、今回は、国土交通省総合政策局の公共交通政策部長でいらっしゃいます藤井直樹様にも御来賓としておいで頂いています。本日は、この協議会の後で開催が予定されています「地域公共交通の未来を考えるワークショップ」におきまして、国の施策動向や全国の動きについて御話しを頂けることになっておりますので、後程議事の中で御助言なども頂くことができればと思っております。

結びになりますが、本日の協議会が、皆様方からの忌憚のない御意見を頂きながら、実りある会となりますことをお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(事務局：森)

ありがとうございました。協議会の議事内容につきましては、原則公開となっておりますが、今回予定しております内容につきましては、計画策定までの途中経過の報告でございまして、公開することによって議事運営に支障をきたすことも考えられるために、佐世保市地域公共交通活性化協議会規約第7条第4項に基づき、非公開とさせていただきますと思っております。

本日の出席委員につきましては、19名中、委任状を含め19名全員が出席されていることを御報告致します。

それでは、ここからは朝長会長に進行をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしく申し上げます。

(朝長会長)

それでは、私の方から議事進行をさせていただきます。早速、議事の方に入りたいと存じますが、お手元の会次第に沿って進めてまいります。本日の議事内容は、(1)平成26年度予算の承認について、(2)佐世保市地域公共交通網形成計画にかかる調査事業の進捗状況報告 (3)その他(今後のスケジュールと事業評価について)となっております。

それでは早速議事に入りたいと思いますが、(1)の平成26年度予算の承認につきまして、事務局からまずは説明をお願いします。

(事務局：中西)

※26年度の収支予算書について説明(省略)

(朝長会長)

ありがとうございました。協議会の事業として、全て国からの補助金を財源として調査を行うも

のであるとの御説明でございました。何か御質問等はありませんでしょうか。

それでは、ないようでございますので、26年度予算について、御承認頂いたということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(朝長会長)

それでは、御承認を頂いたということで、ありがとうございました。

続きまして、(2)佐世保市地域公共交通網形成計画にかかる調査事業の進捗状況報告につきまして、調査の全体像をつかんでいただくために、調査事業のおおまかな内容と調査スケジュールの説明、また、先日開催されました幹事会で出た主な意見の報告を、事務局の方から御報告をお願いします。

(事務局：中西)

※調査概要と作業予定、第1回幹事会で出た主な意見について説明(省略)

(朝長会長)

ありがとうございました。それでは調査事業の進捗状況報告にまいりますが、ここからは、本調査事業を進めていただいております、日本総合研究所様に進捗報告をお願いしたいと存じます。

まずは「佐世保市のまちづくりと地域公共交通ネットワークについて」から説明をお願いいたします。

(株)日本総合研究所：松村)

※佐世保市のまちづくりと地域公共交通ネットワークについて説明(省略)

(朝長会長)

ありがとうございました。ここまでで、御不明な点や確認したい点を含めて、御意見・御質問はございませんか。

(佐世保市交通局：田崎)

理念的には、おっしゃるように、基幹的なバス路線、補完的なバス路線があり、市内に2社のバス事業者がいて、重複して団子状態で走っている、ここの部分をいかなる形で効率化していくのか、ということはおっしゃるとおりだと思います。そういう中で、最後の10ページで、乗換結節点となる拠点として、佐々、佐世保駅前、早岐という3つの乗換拠点が示されていますが、何らかの形で、拠点について、一定想定されたものがあるのでしょうか。佐々については、西肥バスさんの一定の施設、営業所等があり、佐世保駅前についても、両社の一定の施設はありますが、早岐については、現存の形での地勢的な分野では、ちょっとイメージが湧かないのですが、具体的な乗換拠点

というものが想定してあるのでしょうか。

(株)日本総合研究所：松村)

これは、あくまでも現時点での仮説です。11月末に、市内バス事業者様の路線のどのような所で、乗継・乗換がなされているかについての実態調査等をさせて頂いておりますので、そのような各種調査の結果を踏まえながら、かつ、市内全体でのバス事業の効率化、効率性を図るにはどうしていくべきかという観点を踏まえながら、特に早岐の在り方についてはいろいろ議論をして参りたいと考えております。

(佐世保市交通局：田崎)

理念的にはおっしゃるとおりです。これは仮説ですから、次の展開の中で、どう具体性、実現性を持たせて進めていくかという議論になろうかと思いますが、理論を実現、具現化していくためには、一定のハードがないものは進まないということになりますので、今後の問題として、具現化のための実施計画等を作っていく段階では、一定の形での相当量のハード整備を伴わないとなかなか限界があるという感じがしておりますこと意見として申し上げます。

(朝長会長)

他にございませんか。ないようですので、続きまして、「ヒアリング結果を踏まえた論点整理について」の説明をお願いします。

(株)日本総合研究所：松村)

※ヒアリング結果を踏まえた論点整理について説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。ここままで、御不明な点や確認したい点を含めて、御意見・御質問はございませんか。

(佐世保市老人会連合会：田坂)

老人会でございますが、75才以上の無料パス（敬老優待乗車証）を頂いて、皆非常に助かって、非常に喜んでおります。その反面、非常に御迷惑をかけているのではないかと考えております。P2左上に「敬老優待乗車証の見直しによる影響」と記載がございます。私達も利用させて頂いて、非常に有難いのですが、これでは赤字がすぐ出るのではないかと、皆さん、心の片隅では思っています。皆さんがどの程度に思っているのかわかりませんが、御話している中では、最初は全部無料で発行頂いても、切り替えのときには1000円でも手数料をとられたら良いとか、1回の乗車につきワンコイン100円支払うとか、他の都市ではそのようにされているようですが、そのような方法で、少し負担しようじゃないかという気持ちを持っていらっしゃいます。この点に

についてはアンケートをとって頂きたいと思います。急にこうしますと言ったら反発もありますので。アンケートを多数とって頂きたいと思います。これは、地域によっても違うと思います。例えば、旧市内の方はあまり有難さを感じないかもしれませんが、私は、早岐に住んでおりますから、非常に助かっております。江迎の方も非常に助かっているとおっしゃっています。それで、こういうことに関してどういうふうに思っているか、関係と地域によって結果が違うのしょうから、アンケートで見て頂けたらと思います。

また、一時通らなかつたのですがこの頃は通るようになりました田子の浦で、最近、東京に行った際に 5:30 に乗りましたが、乗客は 1~2 人だけで、帰りは 20:30 頃に乗りましたが、その時も乗客は 1~2 人だけでしたので、これでは赤字だろうなと気の毒に思っていました。このようなものは、乗合タクシーにしたらどうか、という話も一時あったような気が致しますが、これも、もう少し具体的なアンケートをとられてみたら如何かと思います。

(朝長会長)

ただ今、敬老優待乗車証の見直しということの提起を頂きました。市としては、大きな課題にはまだ取上げておりませんが、そのような御話が老人クラブからあるということも承知しております。この点については、どこからお答え頂けますでしょうか。

(保険福祉部長：赤瀬)

先ずアンケートの件でお尋ねがございましたが、過去数回ほど、市民アンケートとして、敬老パスに限らずに市政全般について無作為抽出でアンケートをとったことがあります。その中で、敬老優待乗車証については、お答えとしては、非常に良い制度だということで、今のままでできればやって頂きたいというようなお声が一番多かったようでございます。御負担の件につきましては、私共もいろいろ考えているところであります。と申しますのも、実は乗車回数がかなり多い状況です。これは、実は私共の目論見どおりでございますが、敬老福祉パスという制度は、元気な高齢者にはとにかく外出をして頂きたいというもので、と申しますのも、家に引きこもると当然老化が非常に早まり、認知症とか最近口コモティブ症候群（筋力の衰え）という問題があります。結果としては、介護保険とか諸々の保険利用経費が膨れ上がりますので、できるだけお元気で、いわゆる健康寿命を延ばして頂きたいというその方策の一つとして、公共交通機関である市営バスと西肥バスの御協力を頂きながら、敬老福祉パス制度を維持しているところでございます。私共の目論見どおり、年間で、約 380 万回乗って頂いており、乗車運賃に直しますと 8 億円近くになると思っておりますが、私どもからお支払している経費は、約 4.8 億円、大まかに申し上げますと乗車実績の凡そ 6 割（定期券御負担分とほぼ同じぐらいと思われる）を負担しており、ただ今御提案があったように、御負担を頂きますと、私共ももちろんでございますが、バス事業者にとっても非常に有難いのではないかと考えておりますが、ただ、御負担を頂くことによって、例えば、ワンコインに致しますと、逆にバスに乗りにくくなるのではないかとということがどうしても懸念されます。そういったお声があることも間違いないのですが、こういった大多数の方が無料制度を評価されていますので、

そこの兼ね合いも考えながら、かつ、バス事業者にも御理解を頂きながら、できればこの無料制度を可能な限り継続していきたいと現在のところは考えております。

(朝長会長)

ただ今、敬老優待乗車証につきましては御説明がございましたが、これにつきまして、よろしいでしょうか。

(西肥自動車：川口)

敬老パスだけの話に限りますと、当社として、通常の運賃の半分しか補助を頂いていないと認識しております。特に当社の場合は、江迎や吉井にも行っています。今御意見として頂いたワンコイン等を考える時期に来ているのではないかと思います。

(佐世保市老人会連合会：田坂)

非常に、時間が経つにつれ、そういう声が皆さんの中でそういう考え方が出てきています。どこかで声を出しておかないとこれは動かないからと思っております、機会ある毎にこういうことを申し上げております。甘えるばかりだけではいけないと思いますので、できることは少しなりともしようと思っておりますので、どうぞ、そういう点をお考え頂き、アンケートも、利用者だけにとってみればまた違った結果が出るのではないかと考えております。若い人は早く 75 才になりたいとおっしゃいますが、75 才になるとやっと自分のこととして考えらえると思っております。宜しく願い致します。

(朝長会長)

ありがとうございます。御提起頂いた 2 点目に、空港バスの件がありましたので、西肥自動車様、お願い致します。

(西肥自動車：川口)

論点整理については、概ね、当社や交通局にもヒアリングしながら作成されたものだと思いますが、急行バスの導入による速達性につきましては、当社としては、空港線が南部地区では藤原橋や日宇駅前等に停まるようになっていきますので、空港に行かれる方に限らずご利用いただいています。そういった利用がされているので、新たに急行バスを運行させる必要はないと思っております。

平戸行についても、半急があり、吉井からは、各バス停で停車しますが、吉井までは主なバス停のところだけに停まる形態があります。急行バスについては、必要ないと考えています
空港バスにつきましては、一部補助を頂きながら、黒字になっています。

(朝長会長)

タクシーの利用について御質問がございましたが、空港までの乗合タクシーについては、佐世保駅

と空港間で、高速道路を利用して走っておりますが、早岐からは走っていませんので、早岐地区の方には少し御不便をおかけしているかもしれません。

(佐世保市商店街連合会：竹本)

中心商店街の立場から考えますと、老人無料化というのは、他の地域では全くないシステムで、元気な高齢者に街に出て来てほしい、そういう意味で、20万人都市で、日本で一番元気がある商店街と言われているわけです。今朝も鹿児島から出てきたばかりですが、鹿児島は、多数のバス会社と路面電車があって、多分これは赤字だろうと思うぐらいの感覚ですが、確かに、街の賑やかさの一部としては、他地域からかなり視察でいらっしゃいますが、その方々の感想としては、都会の地下鉄並みの、役所から駅までの通行量があると良く言われます。逆に日本全国いろんな所を回っておりますと、例えば、帯広は、1時間に1本しか路線バスが運行されていませんので、都城当たりも、学生が、飲んでいて、翌朝バスを1本乗り遅れると遅刻してしまうのですが、それからすると羨ましいと言われるぐらい公共交通が佐世保では発達しています。路線が団子状態であるのが果たして本当に良いのかどうか、よく整合性といいますが、適切に考えて頂きたいと存じます。

それから、逆に、市役所のほうで出来るのかと思われませんが、県立大学と国際大学から、街ナカに出て来るにはたしか、片道350円又は5百数十円かかりますので、学生達は、街ナカのことが殆どわからない状況です。先ほど先生と御話したら、アルバイトするために、留学生などは、自転車で街ナカにきています。しかも、お金が出ない。逆に、その点に対応して、もっと街ナカに來やすくするためには、県立大学は約2千人の学生（国際大学の学生数もそう変わらない）がいらっしゃるので、ワンコインで行けるような通学パスのようなものがあれば、もっと若者が公共交通で来て街ナカでアルバイトをできるのではないかという気がしております。先日も県立大学の学生と話していたら、そもそも高くて来られない。ただでさえ、奨学金を頂いていて、アルバイトもしたいがなかなか足代が出ないという方も沢山いらっしゃいましたし、逆に街ナカのことをほとんど知らないという学生も沢山いらっしゃいます。そういう点が、逆に、元気な高齢者に街に来て下さいという老人無料パスのように、元気な学生が約4千人いらっしゃいますので、ワンコインぐらいで来れるならば、というふうに、もっともっと沢山できることがあるのではないかという気がしていますという意見です。

(朝長会長)

今の御意見について、何かございませんでしょうか。

(長崎県立大学：石川)

学生の利用に関して提起されましたので御話します。学生が街ナカでアルバイトする際に、留学生は自転車で行くというケースがありましたけれども、バイクなども使ったりしているのですね。ですから、安い運賃で乗せて頂けるということになれば、(公共交通の)新たな利用客の掘り起こしになるのではないかと考えております。ついこの間ですが、留学生で、アルバイト先が県立大学の

近くにないが、街ナカまで行くと交通費の採算がとれないから生活費が大変だからということで、退学して他の大学に移った学生もいらっしゃいます。特に外国からの留学生が割高感を感じているような気が致します。もちろん、普通の学生も、バイクを使ったりしていますので、交通安全面の観点からも補助して頂けると本当に助かる場所があると思います。どうしても、地方の公共交通というものは採算を考えると運賃が割高になります。片道運賃が 300 円を超えるとなかなか厳しいと感じています。我が家のように 5 人家族ですと、街ナカに出ようとすると、往復で相当なバス代がかかりますので、駐車料金を考えてもクルマの方がよいというぐらいの状況で、もう少し安い運賃に抑えて頂ける施策だったと思います。また、街の中心部に人を誘導することが市の方針であれば、都心の間、例えば、佐世保駅前から市役所前までの間はもっと安くする、また、途中までのバイク駐車は無料にして、そこから公共交通に繋げる仕組みにするなどのことにすれば、公共交通にもっとシフトしていくことが期待できるのではないかと考えております。日本総合研究所でも佐世保の交通状況も分析頂いているようですが、当学部でも、ゼミで公共交通の政策のことも勉強していて、学生が、長崎、佐世保、佐賀のバスの運行本数等について、(国土交通省の数値情報から計算してみたら値が大きくなり過ぎましたので) ホームページの時刻表で各駅のもの調べて計算したことがあります、佐賀や久留米と比較して、佐世保はバスの運行本数が多いので、更にそうした長所を伸ばせるような街づくりもあってよいのではと思っております。

(朝長会長)

ただ今の学生のアルバイトの件でときどき言われますので、西肥自動車と市交通局に御伺いしたいのですが、西九州自動車道を活用した路線は今あるのでしょうか。例えば、県立大学から相浦を通して、あるいは、国際大学から針尾バイパスを通して、街へ行く新たなバス路線を設定するかどうか、という話もありましたということで、御伺い致しますが。

(西肥自動車：川口)

長崎行き的高速バスで、佐々から出る分はあります。ただし、途中で乗ることはできません。

(朝長会長)

西九州自動車道ができて、距離的にも時間的にも短くなりますので、料金が安くなる可能性はあるのではないのでしょうか。

(西肥自動車：川口)

朝は渋滞します。長崎国際大学には、当社のバスが乗り入れており、定期券の割引はしています。県立大学については、松浦鉄道もあります。松浦鉄道の大学駅前にバスを止めて、対応しております。

(朝長会長)

御意見として、さきほどのことも聞いておかれたら良いと思います。他にございませんか。

(佐世保市商店街連合会：竹本)

博多では、地下鉄に乗ると 250 円などの高い金額になるということから、ワンコイン (100 円) 周遊バスは、皆さんから非常に評判が良い状況です。地下鉄では、隣接の東比恵から福岡空港までは 100 円などで行けますが、博多駅からは 250 円かかります。周遊バスでは安く行けます。一方、松浦鉄道の佐世保駅-佐世保中央駅間は乗車率約 130%に達していると聞きますが、この区間の 150 円を、私は非常に割高に感じています。それから、利便性を考えると、特急みどりに乗って街ナカに出てくるには 2 分で着く松浦鉄道が本当に便利ですが、隣の駅には割安で行けるようにするとか、ワンコインで街ナカをぐるぐる回れるようにするとかを、考えて頂けたら助かると思います。

(朝長会長)

御意見として承るということでもよろしいでしょうか。他にございませんか。

さて、調査は順調に進んでいるようですが、スケジュール的にも余裕がない状況ですので、それを念頭に置かれながら引続きお願いしたいと思います。

次の議題の「その他」につきましては、「今後のスケジュール」と「事業評価について」のふたつが挙がっております。事務局から御説明をお願いします。

(事務局：井上)

※今後のスケジュール及び事業評価について説明 (省略)

(朝長会長)

只今ご説明があったとおり、一次評価の件につきまして、事務局に作成を一任するというので、御承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(朝長会長)

それでは、事業評価について、御承認を頂き、ありがとうございました。

他に、何か、ございませんでしょうか。ないようでしたら、これにて、みなさまの御協力のおかげで議事を終えることができましたので、終了させていただきます。

さて、この後、藤井部長様にお話しいただくワークショップが予定されておりますが、本協議会を締めるにあたりまして、藤井部長様から御所感等、一言頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(国土交通省総合政策局：藤井)

本日は、協議会に参加させて頂き、有難うございました。またこの後のワークショップで、私共が考えている全体的な話は申し上げたいと存じますが、その中に、実は「連携・協働」などという

言葉で謳っている、私共が強調して参りたい方向性がございます。特に、地域交通の問題につきましては、今日お越し頂いたような、非常に多くの方々、事業を実施されているの方々、利用されるの方々、更には地方行政の方々など非常に多くの方々に関係されますが、その方々がどういうふうになれば良いのかということと共に考えて、いろいろ考えの違いがある中で、それを収斂させていくことがどうしても必要だと謳っているわけではありますが、本日の協議会で実地で1時間半の間お伺いして、その必要性を改めて確信致しました。それぞれのコメントには、非常に傾聴に値すべき内容が多かったと思います。こんなに真剣にしているということ自体が、地域交通を担当する者として、本当に有難いことと感ずます。先ほど御紹介ありましたように、法律は11月に施行されたばかりで、これを受けて全国各地で、それぞれの取組で地域の交通網をどう良くしていけばよいかという点で、取組みが今後されていくことを私共としても最大限後押しして参りたいと存じます。この後2月、3月と議論が続いていくと御伺いしており、本日も私共の地方支分部局であります九州運輸局も参加しておりますので、更に国として何ができるかしっかりと受け止めて進めて参りたいと存じますので、引続きどうぞ宜しくお願いいたします。どうもありがとうございました。

(朝長会長)

ありがとうございました。

藤井部長様には、この後のワークショップでも御話を頂けることになっておりますので、皆さまどうぞ期待をして御参加頂ければと存じます。

それでは皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございました。私から事務局へお返しいたします。

(事務局：森)

これもちまして第2回佐世保市地域公共交通活性化協議会を閉会致します。ありがとうございました。